



おいしいお米が
育ちますよーに。



川路みのりさん
(鹿純短2年・昇陽自治会)

坂口綾菜さん
(鹿純短2年)
プロジェクトリーダー



純錦米プロジェクト2018

4月14日(土)、錦江町田代花瀬の川南地区で、5年目となる「純錦米(じゅんぎんまい)」の田植えが行われました。この日は、鹿児島純心女子短期大学(以下:鹿純短)2年生の35名が参加し、川南地区青年部の指導を受けながら20アールに作付しました。川南地区一帯では、無農薬栽培米に取り組んでおり、「純錦米水田」においても農薬を使わず、学生が田車を押し除草し、安心・安全な米づくりを行います。この取り組みは、平成26年3月に錦江町と鹿純短が締結した「包括的連携協定」の一環で行っているもので、錦江町産の米を使って新商品の開発に取り組み、地域活性化に繋げるものです。商品化は、平成27年度から始まった抹茶どら焼き、いちごフロマー、ジュ、紅はるかシユークリームに続く第4弾で、収穫後に商品開発に向けた話し合いが始まります。チームをまとめる坂口綾菜さんと、錦江町田代出身の川路みのりさんは「おいしいお米を育てて、商品開発を通じて地域を盛り上げたい」と意気込みを語りました。

